

## 第4章 推進体制と進捗管理



## 1

## 推進体制

ジェンダー平等に関する施策は、行政の各分野や市民生活のさまざまな分野にわたります。そのため、市民、NPO、ボランティア、大学、企業など多様な主体と協働して施策を進めるとともに、持続可能な社会として“ジェンダー平等のまち「ふじさわ」”の実現をめざします。

**(1) ふじさわ男女共同参画プラン推進協議会**

ジェンダー平等社会の実現に向けて、学識経験者、関係団体等からの推薦委員、市民公募委員で構成される外部組織である推進協議会が、「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」に掲げた関係施策が総合的、効果的に推進されるよう協議するとともに、積極的な情報収集、情報提供と意見提案に努めます。

**(2) 藤沢市男女共同参画推進会議**

「藤沢市男女共同参画推進会議」（担当副市長及び各部局長で構成）を庁内推進体制として組織し、ジェンダー平等の推進に向けて施策の充実を図るとともに、「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」の具体的事業に関与する課で構成する幹事会を組織し、関係部局との連携を保ちながら総合的かつ効果的に施策の推進を図ります。

**(3) 市民、NPO、ボランティア、大学、企業との連携・協働**

ジェンダー平等社会の実現には、市が実施する施策だけではなく、市民やNPO、ボランティアによる自主的、主体的な活動が重要です。市民による自発的な参加や活動を促し、多様な働き方やジェンダー平等についての理解が図られるよう、こうした活動を支援し、ネットワークを強化していきます。また、ワーク・ライフ・バランスの推進、次世代を担う若年層への意識啓発などの取組は、大学、企業などが担う役割が大きいことから、連携を強化し、協働して取組を進めていきます。

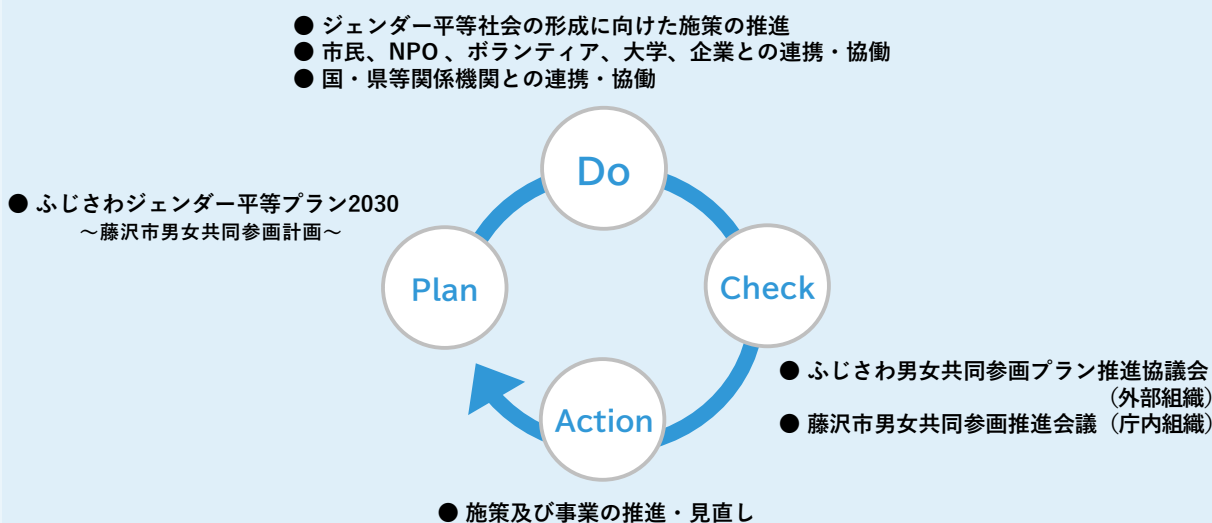
## (4) 国・県等関係機関との連携・協働

「ふじさわジェンダー平等プラン 2030～藤沢市男女共同参画計画～」を着実に推進していくために、かながわ男女共同参画センターをはじめ、国、県などとの連携強化や情報収集に努めるとともに、国や県が広域的に実施すべき事項等については、積極的に働きかけを行います。また、茅ヶ崎市、寒川町との2市1町のネットワークや近隣自治体との広域連携による交流と情報交換などにより、効果的な施策の推進を図ります。

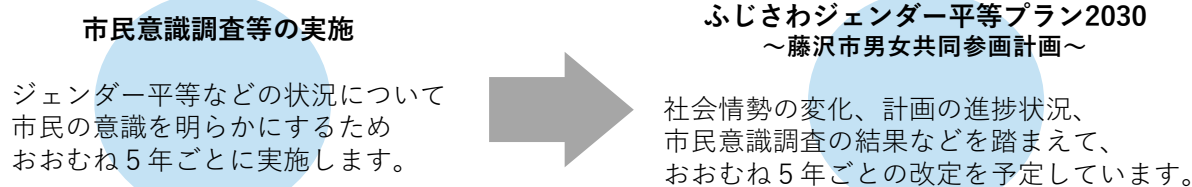
## 2 計画の進捗管理

本計画において位置づけた各施策を着実に推進するため、年度ごとにPDCAサイクルに基づいた事業の進捗管理を行います。

### 推進体制図



### 計画の改定についての基本的な考え方



3

ふじさわ男女共同参画プラン2020（改定版）  
成果指標の達成状況

重点目標1 人権を尊重した男女共同参画社会づくり

指標内容	成果指標	改定時実績 (平成 28 年度)	最新値	目標値 (令和 2 年度)
<p>■男女の地位の平等感</p> <p>社会通念・慣習・しきたりで、「平等になっている」と回答した市民の割合</p> <p>(藤沢市男女共同参画に関する市民意識調査)</p>		10.8% (平成 25 年実施)	9.7% (平成 30 年実施)	30.0%
<p>■固定的な性別役割分担意識について 反対と思う人の割合</p> <p>「男は仕事、女は家庭」という考え方に対して、「反対」「どちらかといえば反対」と思う人の割合</p> <p>(藤沢市男女共同参画に関する市民意識調査)</p>		53.8% (平成 25 年実施)	61.2% (平成 30 年実施)	70.0%
<p>■男女共同参画（社会）ということばの 認知状況※1</p> <p>(藤沢市男女共同参画に関する市民意識調査)</p>		64.2% (平成 25 年実施)	63.2% (平成 30 年実施)	100.0%

※1 内閣府策定第4次男女共同参画基本計画の成果目標

重点目標2 あらゆる分野への男女共同参画の促進

指標内容	成果指標	改定時実績 (平成 28 年度)	最新値	目標値 (令和 2 年度)
<p>■市の政策・方針決定過程への 女性の参画</p> <p>地域を含めた藤沢市独自の審議会などへの女性登用比率</p> <p>(藤沢市審議会等の女性の登用状況調査)</p>		42.0% (平成 27.4.1 現在)	41.9% (令和 2.4.1 現在)	50.0%
<p>■市内企業の管理職（課長相当職以上） に占める女性の割合※1</p> <p>(産業労働課)</p>		6.5% (平成 26 年度神奈川県 男女共同参画推進条例 に基づく事業所からの 届出結果から算出)	10.0% (平成 30 年度藤沢市 ワーク・ライフ・バランス にかかる企業調査結果)	15.0%
<p>■地域活動に参加したことのある 男性の割合（直近2年間）</p> <p>町内会・自治会、PTA、地域での自主的なグループ・ サークル活動などに参加したことのある男性の割合</p> <p>(藤沢市男女共同参画に関する市民意識調査)</p>		49.3% (平成 25 年実施)	57.3% (平成 30 年実施)	70.0%

※1 内閣府策定第4次男女共同参画基本計画の成果目標

### 重点目標3 男女の仕事と生活の調和

指標内容	成果指標	改定時実績 (平成 28 年度)	最新値	目標値 (令和 2 年度)
<b>■ワーク・ライフ・バランス推進の 仕組みを導入している市内企業の割合</b>  (産業労働課)		54.3% (平成 26 年度藤沢市 労働施策にかかる 企業調査結果)	83.7% (平成 30 年度藤沢市 ワーク・ライフ・バランス にかかる企業調査結果)	65.0%
<b>■6歳未満の子どもを持つ夫の 育児・家事関連時間<sup>※1</sup></b> 6歳未満の子どもを持つ夫婦における夫の1日あたりの 「家事」「介護・看護」「育児」及び「買物」の合計時間 (週全体平均) (藤沢市男女共同参画に関する市民意識調査)		1日あたり 67分 (平成 23 年度総務省 社会生活基本調査)	1日あたり 277.3分 (平成 30 年実施) ※総務省調査とは調査の 方式は異なる	1日あたり150分
<b>■保育の充実度</b> 待機児童数  (保育課)		83人 (平成 27.4.1 現在)	20人 (令和 2.4.1 現在)	0人

※1 内閣府策定第4次男女共同参画基本計画の成果目標

### 重点目標4 性の尊重とあらゆる暴力の根絶

指標内容	成果指標	改定時実績 (平成 28 年度)	最新値	目標値 (令和 2 年度)
<b>■ドメスティック・バイオレンス (DV)被害を受けた男女の割合</b> 配偶者・恋人間で何らかの暴力(無視をする、怒鳴る などの精神的暴力を含む)を受けたことのある男女の 割合 (藤沢市男女共同参画に関する市民意識調査)		女性：27.0% 男性：12.2% (平成 25 年実施)	女性：24.7% 男性：11.8% (平成 30 年実施)	女性：20.0% 男性：8.0%
<b>■DV相談窓口の認知状況<sup>※1</sup></b> DV相談窓口を知っている人の割合 (藤沢市男女共同参画に関する市民意識調査)		58.9% (平成 25 年実施)	41.3% (平成 30 年実施)	100.0% <sup>※2</sup>
<b>■セクシュアルハラスメントや パワーハラスメント被害を受けた 男女の割合</b> 職場・地域・学校などでセクシュアルハラスメントや パワーハラスメントを受けたことのある男女の割合 (藤沢市男女共同参画に関する市民意識調査)		女性：48.5% 男性：18.1% (平成 25 年実施)	女性：50.1% 男性：20.0% (平成 30 年実施)	女性：40.0% 男性：12.0%

※1 内閣府策定第4次男女共同参画基本計画の成果目標

※2 国の目標値は70%

重点目標5 男女の健康支援と安心して暮らせる環境づくり

指標内容	成果指標	改定時実績 (平成 28 年度)	最新値	目標値 (令和 2 年度)
■女性特有のがん検診の受診率※1	①子宮頸がん検診の受診率	①26.8% (平成 26 年度実績)	①28.2% (令和元年度実績)	①50.0%
	②乳がん検診の受診率 (健康増進課/現:健康づくり課)	②20.3% (平成 26 年度実績)	②27.2% (令和元年度実績)	②50.0%
■両親学級 (マタニティクラス)の参加者数 (子ども健康課/現:健康づくり課)		1,326 人 (平成 26 年度実績)	1,291 人 (令和元年度実績)	1,500 人

※1 内閣府策定第4次男女共同参画基本計画の成果目標

## 4

## ふじさわジェンダー平等プラン2030

## ～藤沢市男女共同参画計画～の指標項目

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」に基づく取組を実施し、ジェンダー平等の社会を実現するために、取組がどのような成果をもたらすかを把握することを目的として、指標を定め、数値目標を設定します。

## 重点目標1 人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり

指標内容	成果指標	根拠調査等	現状	現状調査年度	目標値 (令和12年度)
■男女の地位の平等感 社会通念・慣習・しきたりで、「平等になっている」と回答した市民の割合		藤沢市男女共同参画に関する市民意識調査 (人権男女共同平和課/ 現：人権男女共同平和国際課)	9.7%	平成30年度	30.0%
■固定的な性別役割分担意識について反対と思う人の割合 「男は仕事、女は家庭」という考え方に対して、「反対」「どちらかといえば反対」と思う人の割合		藤沢市男女共同参画に関する市民意識調査 (人権男女共同平和課/ 現：人権男女共同平和国際課)	61.2%	平成30年度	70.0%
■「ジェンダー」ということばの認知状況		内閣府男女共同参画社会に関する世論調査	55.8%	令和元年度	70.0%

## 重点目標2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進

指標内容	成果指標	根拠調査等	現状	現状調査年度	目標値 (令和12年度)
■市の政策・方針決定過程への女性の参画 地域を含めた藤沢市独自の審議会などへの女性登用比率		藤沢市審議会等の女性の登用状況調査 (人権男女共同平和課/ 現：人権男女共同平和国際課)	41.9%	令和2年度	50.0%
■市職員の管理職（課長補佐相当職以上）に占める女性の割合		女性活躍推進法第21条の規定に基づく女性の職業選択に資する情報の公表	23.5%	令和2年度	30.0%
■市内企業の管理職（課長相当職以上）に占める女性の割合		藤沢市ワーク・ライフ・バランスにかかる企業調査 (産業労働課)	10.0%	平成30年度	15.0%
■地域活動に参加したことがある男性の割合（直近2年間） 町内会・自治会、PTA、地域での自主的なグループ・サークル活動などに参加したことがある男性の割合		藤沢市男女共同参画に関する市民意識調査 (人権男女共同平和課/ 現：人権男女共同平和国際課)	57.3%	平成30年度	70.0%
■自治会における女性会長の割合		藤沢市 市民自治部 市民自治推進課調べ	13.8%	令和2年度	20.0%
■郷土づくり推進会議における女性の割合		藤沢市審議会等の女性の登用状況調査 (人権男女共同平和課/ 現：人権男女共同平和国際課)	34.1%	令和2年度	50.0%
■藤沢市防災会議における女性の割合		藤沢市 防災安全部 防災政策課調べ	5.0%	令和2年度	15.0%



### 重点目標3 ワーク・ライフ・バランスの推進

指標内容	成果指標	根拠調査等	現状	現状調査年度	目標値 (令和12年度)
■待機児童数		藤沢市 子ども青少年部 保育課調べ	20人	令和2年4月1日 現在	0人
■市の男性職員の育児休業取得率		勤務条件等に関する調査	1.9% (令和元年度実績)	令和2年度	30.0%
■男性の育児休業取得率		藤沢市男女共同参画 に関する市民意識調査 (人権男女共同平和課/ 現:人権男女共同平和国際課)	0.3%	平成30年度	5.0%
■介護休暇・介護休業の取得率		藤沢市男女共同参画 に関する市民意識調査 (人権男女共同平和課/ 現:人権男女共同平和国際課)	1.9%	平成30年度	5.0%

### 重点目標4 あらゆる暴力の根絶

指標内容	成果指標	根拠調査等	現状	現状調査年度	目標値 (令和12年度)
■DVを受けたことのある男女の割合		藤沢市男女共同参画 に関する市民意識調査 (人権男女共同平和課/ 現:人権男女共同平和国際課)	女性:24.7% 男性:11.8%	平成30年度	女性:20.0% 男性:8.0%
■DV相談窓口を知っている人の割合		藤沢市男女共同参画 に関する市民意識調査 (人権男女共同平和課/ 現:人権男女共同平和国際課)	41.3%	平成30年度	70.0%
■セクシュアルハラスメントや パワーハラスメント被害を 受けた男女の割合		藤沢市男女共同参画 に関する市民意識調査 (人権男女共同平和課/ 現:人権男女共同平和国際課)	女性:50.1% 男性:20.0%	平成30年度	女性:40.0% 男性:12.0%
■「デートDV」ということばの 認知状況		藤沢市男女共同参画 に関する市民意識調査 (人権男女共同平和課/ 現:人権男女共同平和国際課)	37.9%	平成30年度	60.0%

### 重点目標5 多様な性を尊重する社会づくり

指標内容	成果指標	根拠調査等	現状	現状調査年度	目標値 (令和12年度)
■セクシュアルマイノリティの人 にとって生活しやすい社会だと 思う人の割合 「思う」「どちらかといえば思う」の合計		藤沢市男女共同参画 に関する市民意識調査 (人権男女共同平和課/ 現:人権男女共同平和国際課)	76.8%	平成30年度	50.0%

## 重点目標6 誰もが安心して暮らせる社会づくり

指標内容	成果指標	根拠調査等	現状	現状調査年度	目標値 (令和12年度)
■女性特有のがん検診の受診率		藤沢市 福祉健康部 健康増進課調べ	28.2% (令和元年度実績)	令和2年度	50.0%
①子宮頸がん検診の受診率		〔現：健康医療部 健康づくり課調べ〕	27.2% (令和元年度実績)	令和2年度	50.0%
②乳がん検診の受診率					
■両親学級 (マタニティクラス)の参加者数		藤沢市 子ども青少年部 子ども健康課調べ 〔現：健康医療部 健康づくり課調べ〕	1,291人 (令和元年度実績)	令和2年度	1,200人 ※出生数の減少及び 実施方法の見直し等を 踏まえ設定
■日頃運動をしている人の割合 週に1～2日以上運動している人の割合		元気ふじさわ健康プラン 藤沢市健康増進計画 (第2次)	女性：32.2% 男性：48.0%	平成30年度	54.0% ※目標値は 令和6年度
①20～39歳					
②40～64歳					68.0% ※目標値は 令和6年度
■自殺死亡率 人口10万人あたりの自殺者数		ふじさわ自殺対策計画 警察庁自殺統計	9.2	令和2年度	11.0以下 ※目標値は 令和5年度

# 第4章

## 推進体制と進捗管理